Benesse

ミライシード

新しい学び方が生まれる！

子どもたちの学ぶ力を伸ばし
先生の指導の質向上と
負荷軽減を**両立**。



ミライシードのデジタルドリル

AIドリル ドリルパーク

デジタルドリルって、どれも同じ？

いえ、違います。

今や多くの学校が導入している「デジタルドリル」。
いつでもさっと取り組め、自動採点で子ども一人で進められるなど、
紙のドリルにはないメリットがあります。
また最近では、AI機能や先生方による子どもの見取り機能の進化も目覚ましく、
学校現場での学習の質向上と、校務負荷軽減の両立を担うものがたくさん出ています。

一方で、一般的になってきたからこそ、
「デジタルドリルってたくさん聞くけど違いがよくわからない…」
「今使っているものが最適なのか考えたい…」などのお声もよく聞くようになりました。
そこで改めて、「ドリルパークってどんなドリル？」にお答えする冊子をお届けします。

問題の編集背景、
AIの品質、実力を伸ばす
仕組みは？



授業で宿題で、
先生の使い勝手や
履歴の管理はしやすい？



デジタルドリルは、余っ た時間で取り組むものでしょ？はもう時代遅れです。

「声掛けがか わる！」「他とこんなに違う！」ドリルパークをぜひご確認ください！

「次の問い」だけじゃなく「学び方」が変わるAIです。



ドリルパークは、単純な「誤答により次の問題が変わる」AIではありません。履歴から判断した「習熟度」を併せて、課題内容はもちろん、「学び方」が変わります。義務のように繰り返しやらされるのではなく納得して進められる。だから、限られた時間でも最大のパフォーマンスを得ることができるんです。

「キミがわからないのはここだね。これを見るといいよ！」学び方が子どもによって変わる個別最適だから、やる気が続く。

従来のAI

つまずき原因別にやり直す問題が出る。つまづきが多いほど問題を解き続けることになりやる気も低下…

▶問題

Q. 計算しましょう。

$6.5 - 3\frac{1}{2} =$

分解

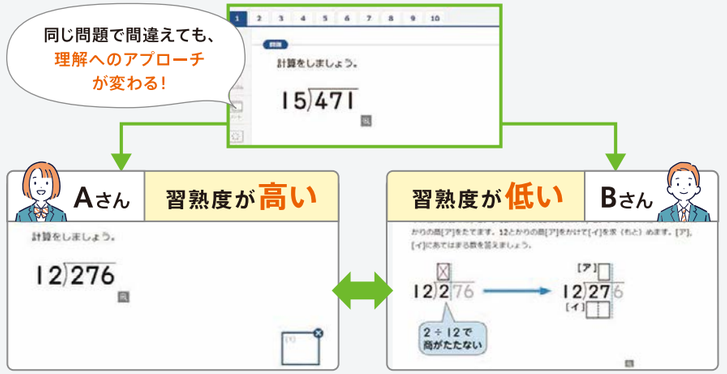
▶知識要素

- $6.5 - 3\frac{1}{2}$ … 小数と分数混合の計算
- $\frac{65}{10} - \frac{7}{2}$ … 小数を分数になおす／帯分数を仮分数になおす など
- $\frac{65}{10} - \frac{35}{10}$ … 通分する／分数の計算 など
- $\frac{30}{10}$
- $= 3$ … 解答

各ステップの正誤に合わせて解くべき「問い」が変わる

ドリルパークのAI

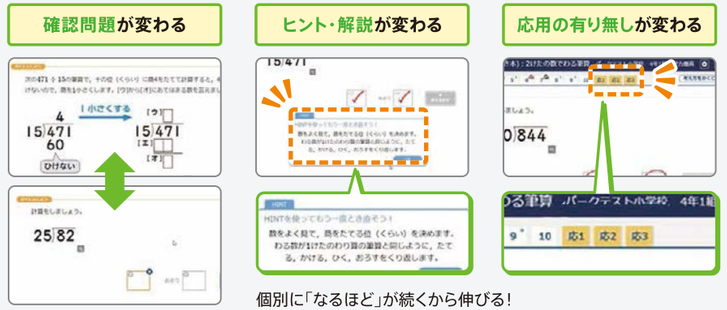
次に取り組む問題が変わるのはもちろん、ヒントの有無など「どう取り組むか」が変化。理解を深めるための学び方が個別最適化します！



数値を変え、同じ、3桁割る2桁をヒントなしで進めるAさん

Bさんはくわしい解説付きで始まり、ヒントを見ながら解き方をおさらい。

＼個別最適な「学び方」をAIが提案！／



個別に「なるほど」が続くから伸びる！

良問で「解きながら学び直せる」ドリルの質の良さ。

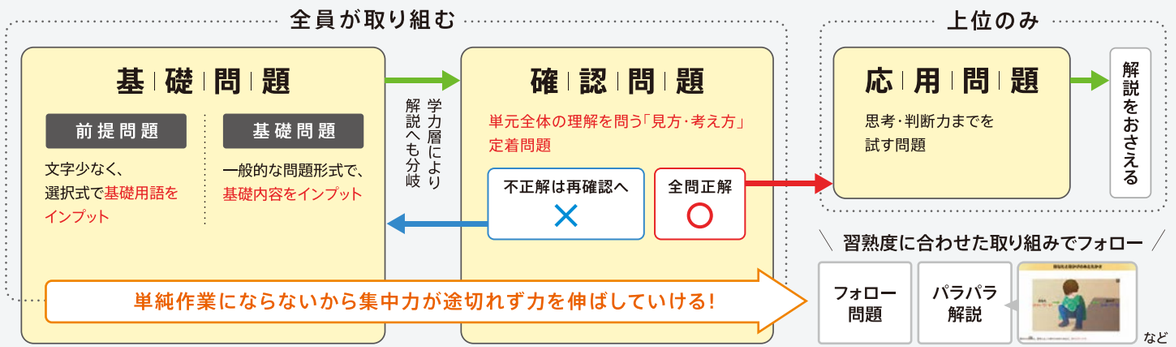
デジタルドリルは、確認目的の選択問題量で語られがちです。でもドリルパークでは、空いた時間に確認するだけのドリルではありません。単元必須の知識定着を問う良問の厳選はもちろん、単元内の学習順にもしっかりこだわっているので「授業での学び」を一人で自然となぞれる設計。解答形式や図の一つ一つにこだわって単純に答えを選ぶだけでなく、解きながら知識を磨ける流れになっています。



通信教育事業のノウハウをいかして、「解きながら学べる」良問から思考力問題への挑戦まで自然と取り組める。

ドリルパーク問題の基本構造

単元内の確認事項ごとに「モジュール」を設定。
そのモジュールの中で順を追って理解を深めながら問題に取り組める設定です。



豊富な解答形式

問題の性質に合わせ、内容理解をできているか試せる最適な解答方式で作問。
適当でなく思考しながら答えられるので学習の質を上げられます。

手書き



手書きでしっかり書き込めて、紙のテストも安心！

複数選択



あてずっぽうにならないからしっかり自分で「考え」て回答。

グループ分け



論理的思考も身につく問題に合わせた回答形式が豊富です。

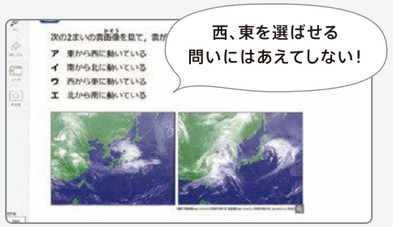
並べ替え



完全理解を試せるのでしっかり実力定着。

思考を促す選択肢と図

考えさせる選択肢と、
さらに定着が図れる図やイメージを
同時に出題



西、東、と単発での知識ではなく、問題を通し事象を流れとイメージで定着させられます。

取り組み履歴はもちろん、「がんばり」まで見とれます。



デジタルドリルでは、「履歴」「正誤」を見られるのは当たり前。ドリルパークなら、そこから一歩踏み込んで、個別に「何回解きなおしたか」「どれくらいの時間取り組んだか」「取り組んだ問題数」など、「どれだけがんばっているか」までわかります。忙しい中でもさっと「がんばりまで」確認できる先生画面で個別の声掛けが変わります。

必要なタイミングを逃さず、必要な声掛けが個別にできるから安心して効果的な学習を進めることが可能に。

取り組みの詳細履歴

正答率や学習時間など簡単な定量情報だけでなく、
間違えた問題を解き直した回数や各ドリルに要した時間まで詳細情報を確認でき、個別声掛けに活かせます。

＼ すぐわかる！ ／

- 実施日時（何時何分まで）
- 取組時間（何分かかったか）
- 取組回数
- 正答率





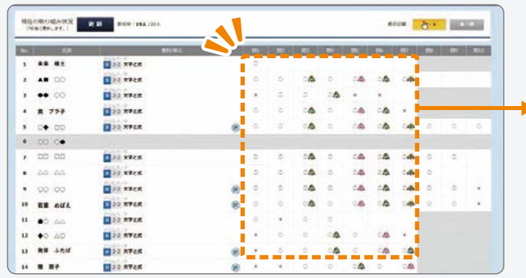
実際に解いた画面に飛んで
どう間違えたのか？など確認、声かけできます。

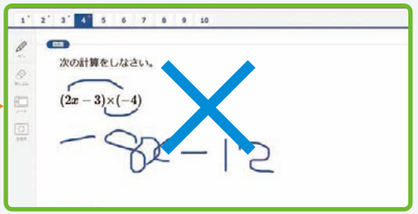
リアルタイム進捗機能

10秒ごと更新で、取り組み状況が表示。進捗状況だけではなく、
正誤状況及び各問題の解答内容まで確認が可能なので、集団授業でも個別に声掛けが簡単です。

＼ すぐわかる！ ／

- LIVE進捗
- 個別正誤
- クラス一覧





各小問をタップで児童生徒の解答画面を表示。
どういう間違いをしているかもチェックできます。

授業は集団授業でもドリルが個別指導。

授業中、個人の理解度別に指導するのはカンタンなことではありません。しかしデジタルドリルの最大のメリットともいえる「個別の課題配信」でそれが可能に。解説の補完に、早く終わった子のおかわり問題に、自宅学習の課題として…先生は簡単な操作でOK。個人の理解度別に基礎学習が進められる学習サイクルがさっと完成します。



選ぶのは、2つだけ。個別最適な課題配信を指定できます。
授業中も宿題でも、作成・配布・回収時間を大幅カット。

ドリルパークの「課題配信」は、
全員同じ、または個別出題を選べます！

- クラス、学年、習熟度別クラスなど
- 完全個人別

POINT 1 時間で選べる！

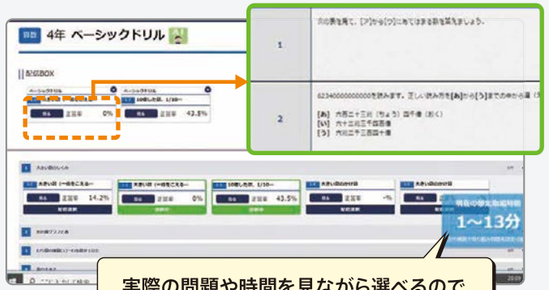
授業中や宿題などシーンに合わせた「時間」で設定できるので、
設定時間内で、最大の効果を出せる問題に効率よく取り組めます。



取り組んでほしい単元を全部選んだら
2時間になってしまった…なんてこともなし！

POINT 2 選びやすい画面構成

単元ごと、問題別など、出題意図に合わせて選びやすい。
授業で扱ったその場で宿題にし、予約配信で出題することも！



実際の問題や時間を見ながら選べるので、
意図を反映した課題にできます。

＼例えばこんなシーンで役立つ！ドリルパークの課題配信／

授業中に

授業の後半の時間を目がけて
予約配信で授業のまとめ問題を
数問配信。理解度チェック！

宿題で

授業の単元をすぐ宿題で配信。
関連単元の前学年の問題も選べ、
抜けもれなく復習が完成。

長期休みに

長期休みの宿題冊子代わりに。
取り組み状況に応じて小分け配信
もでき、負担なく取り組めます。

もっとやりたい!が自然に出る使いやすさが自慢です。

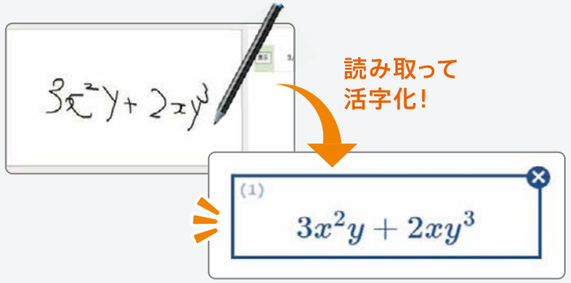


基礎学習はどうしても「やらされる」ものになりがち。でもどうせなら、自分から次に向かう気持ちをもって取り組んでほしい。だからドリルパークでは、「嫌いにならない使いやすさ」「どんどん進めたくなるポイント・メダルシステム」「どこをやるか迷わない教科書対応」など、自分から取り組める仕組みづくりに注力。子どもたちのやる気をそのまま基礎力向上につなげます。

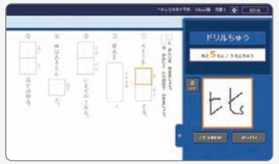
使いにくさは、やる気にそのまま影響してしまうから。
息をするように使い続けられ、うれしくなる機能を強化しています。

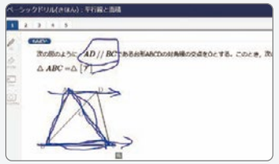
紙のような手書きが可能

手書き認識で数学の2乗やルートもストレスなく答えやすい。
(キーボード入力も可能)



漢字 や 図形問題 もしっかり取り組める!



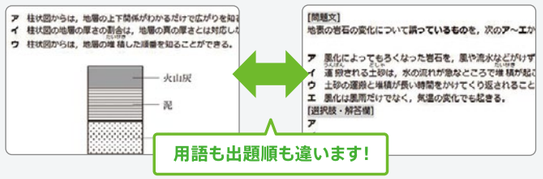


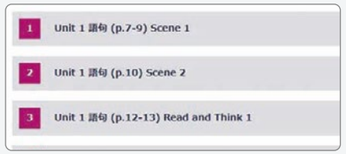
復習しやすい教科書対応

教科書を横並びで分析し、履修順や用語を教科書別に。
予復習がスムーズに。

例えば
A教科書では
『柱状図』を中一から扱っている

例えば
B教科書では
扱いが大きくない
(もしくは履修時期が異なる)

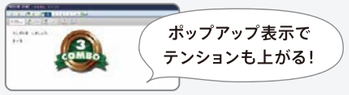




モジュールごとに対応ページを表記。
見やすく、やるべきことに迷わない設計。

ポイント制でどんどん取り組みたくなる

正解数や取組数に
応じたメダルが
学習意欲を高めます。





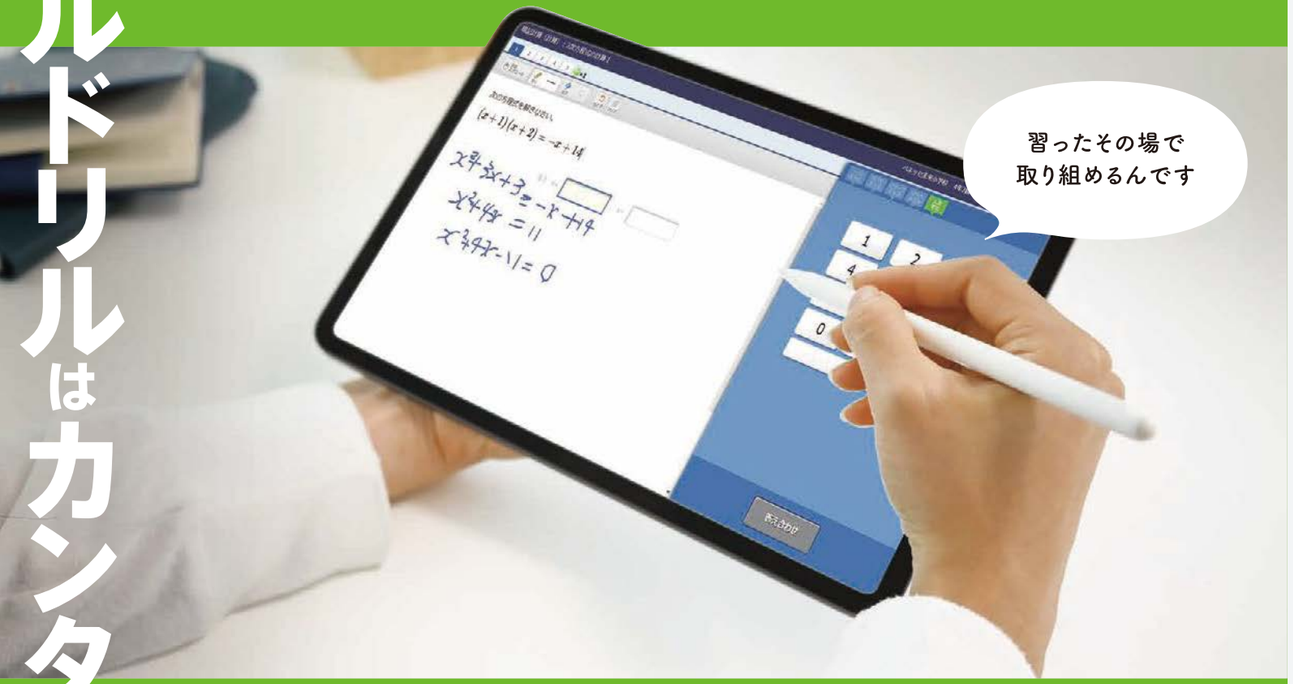
着せ替え機能でお気に入りが作れる

ノートやペンを
気分で変えるように
画面の雰囲気が変えられる!



デジタルドリルはカンタン？

デジタルドリルは、どうしてもカンタンそう…という言うお声をよく耳にします。でもそこは、通信教育事業をもつベネッセのデジタルドリル。学習単元の終わりに、実際の入試過去問をセット。普段の学習の中で、その都度入試レベルにまで力を引き上げられる仕組みです。入試問題まで解けちゃった！という自信が、次の問題・学習に取り組むモチベーションになることを私たちは知っています。

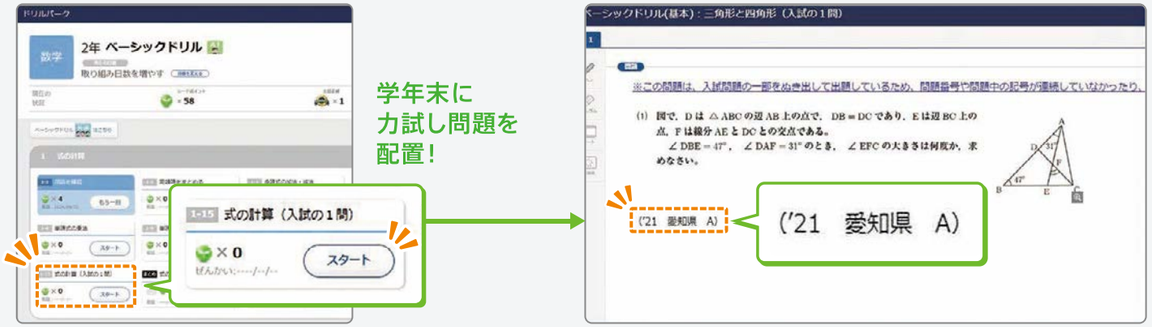


いえ、入試問題まで取り組めます。

高校入試問題を重要単元の最後に配置。中1からでも入試レベルを意識でき、学習モチベーションにつながります。

公立高校入試（入試の一問）

重要単元の最後には、高校入試対策問題を。
気負わず入試問題にチャレンジできるので、自然と入試が身近になっていきます。



他県の入試過去問にも取り組め、普段の学習から様々な形式にふれられます。

入試力試しセレクション

分野横断的な問題をまとめた復習・力試しにピッタリなセレクション。
長期休みの発展的課題としても使えます。



長期休みの区切りで使いやすい、入試レベル専用のコーナーも！
まとめて取り組むことで、さらに実力アップできます。

「見える化」を重視しているから、自走に向け踏み出せる。



学習を主体的に進められるのはほんの一握り。でもその「自分で進めていく力」こそ、社会で必要になる力です。ドリルパークでは、とにかくやったこと、大切なことを「見える化」することで、自分の「あれれ？」に気づきやすい設計。日々の学習の中で、その気づきを次の学習に向ける習慣が自然と身につく、自走力をつけていけるドリルなんです。

やったことがすぐ見えるから、やる気につながる。
やるべきことがすぐ見えるから、「何しよう…」と迷わない！

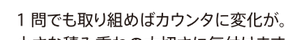
［ ドリルパークのTOP画面 ］



正解数に応じてポイント・メダルGET！

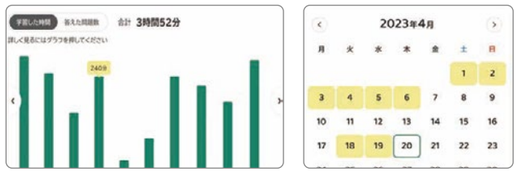
どんどんグレードが上がっていくので、子どもの“学ぶ楽しさ”を刺激します。

やった積み重ねが目に入る！



1問でも取り組めばカウンタに変化が。小さな積み重ねの大切さに気付けます。

日々の頑張りが目に入る！



取り組み量・成果が可視化されるので自己調整能力につながります。

問題の解説でもこんな工夫！

ドリルパークの解説は、正誤にかかわらず一問ごとに、表示されます。これは学習の本質を鑑み、間違いの場合はもちろん、正解でも改めて言語化し、定着させてほしいという思いから。わざわざ解説を見る、などのボタンは設けません。解けば解くほど、
解説も目に入ってくるドリルなんです。



良問＋活用サポート＝ドリルパーク!

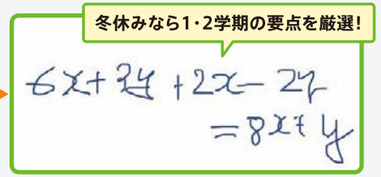
デジタルドリルはいろいろな使い方があります。授業中に早めに学習が終わった子から取り組む、宿題として取り組む…などわかりやすい時間を固定し、「習慣化」させて取り組むのが定着の近道。でもそれだけではつい飽きてしまうことも…。メリハリをつけて取り組めるよう、ドリル本体も、活用サポートも時期に合わせて進化しています。



活用の時期と目的に合わせた特別コーナーや、研修・セミナーを通し、単調になりがちなドリルの取り組みも「やってみよう!」が続く。

長期休み用ピックアップ





既習範囲のヌケモレがないか確認するのに必須問題をピックアップ。長期休みに取り組むのにぴったりな量で、ドリル課題として最適です。

〈小1〜小6〉
教科 国語・算数・理科・社会
範囲 長期休み前の単元から問題を厳選

〈中1・中2・中3〉
教科 数学・英語
範囲 長期休み前の単元から問題を厳選

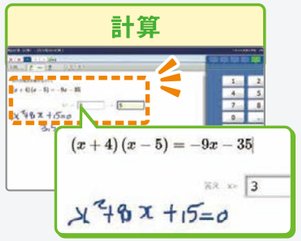
漢字ドリル・暗記計算ドリル

英単語



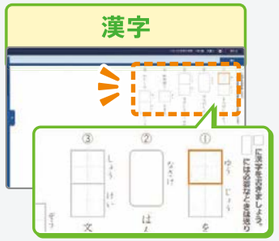
高校入試必須の単語を収録。「覚える」「覚え直す」「確認」の3ステップで忘れにくい暗記を実現。

計算



計算問題のパターンごとに問題をセット。1回5分程度でパターンに慣れ、スピードや正確性を向上させます。

漢字



書き取りを繰り返すのではなく実際に「使う」シーンを重視。活用の中で定着を図ります。

漢字・英単語・計算の繰り返し演習用ドリル。

漢字・計算は教科書・学年相応で、英単語は無学年で収録。

25年度は
理・社もリリース!

高速改善・改修

定期的に、ユーザーの先生方と接点を持ち、「小さいことだけれど気になる…!」という機能の更新や問題改善を実施。使いやすさも日々上がります。



各種セミナー

オンラインで研修を定期開催。さらに時期に合わせたテーマ別研修や、先生同士の学び合いミーティングなど、「もっと使ってみたくなる」環境づくりで、活用のサポートを続けています。



ドリルパーク活用事例

声掛けが変わると、授業も宿題も変わる!

授業が変わる!

鳥取県鳥取市立倉田小学校さま

ICTで、授業の時間が充実。
演習時間を確保した上で、「個別最適な学び」を実現し、定着不足の原因を取り除く。

これまでの授業

導入として課題・めあてを確認の後、各々で考えをまとめそれらを共有し適用問題で定着…という流れが王道。しかし実際は自分の意見のまとめに時間を割きがちで、**後半に時間切れ、定着不足となることも…**

課題の確認・本時のめあて → 自分の考えをまとめ、友達と考えを共有。説明し合う → 別の問いで確認、適用問題に取り組む

ここの時間が不足しがち。

今回の授業

倉田小では、授業支援ソフトと一緒にデジタルドリルを採用。事前に課題に取り組むことで子どもたちの理解度を把握、**見通しをもって授業を開始できる上、反転学習を取り入れられる。**

宿題 自分の考えをまとめる → 課題の確認・本時のめあて → 自分の考えをまとめ、友達と考えを共有。説明し合う → 別の問いで確認、適用問題に取り組む

- 宿題 自分の考えをまとめる：授業前に児童の理解度を把握。
- 自分の考えをまとめ、友達と考えを共有。説明し合う：友達と考えを共有するところから授業がスタートできる。
- 別の問いで確認、適用問題に取り組む：理解度に応じた個別最適な演習時間をしっかりと取ることができる。

キミ専用問題で個別最適な学びを実現

宿題が変わる!

北海道豊浦町立豊浦小学校さま

火・金は「ドリルパーク宿題」の日。
校務時間の軽減と見取りの両立を実現。長期休業のドリルで校費軽減も!

実践の流れ

高学年では、**火曜日と金曜日は「タブレットを持ち帰りドリルをやる日」に指定。**授業で学習した範囲や、先生が不足を感じる範囲を選んで、予約配信で宿題を課している。24年度は、長期休業の宿題も「ドリルパーク」で。**単元テストの結果など、学年の状況に合わせ作問。夏休みの全宿題を一括で出す、半分に分けて出すなども**先生の裁量によって変え、フレキシブルに。**学校予算で購入していた問題集のコスト削減も実現。**

宿題を「出す」、「確認」作業が圧倒的に短縮。

内容と時間を意識し、算数と国語をバランスよく出すように心がけています。**だいたい5分あれば、宿題の配信作業は完了。圧倒的に効率的です。印刷が不要なのもよいですよね。**「書く」、「考える」こともしっかりしてほしいので、プリントの宿題も使い分けてます。



子どもの状況確認と、それに合わせた指導・見取りを実現。

子どもたちの様子はタブレットで確認しています。直接「これはどこが分からなかった?」などコミュニケーションをとって指導することも。長期休みも学校に行かずとも**クラス全員の取組の様子が分かるのはとても便利でしたね。**



「自分に合った」宿題で前向きな取り組み姿勢

配信機能なら、個別に課題を分け配信することもあります。子どもによっては、タブレットのほうがスムーズに取り組めるようです。**宿題を「書かなきゃ」と気負うことなく、リズムよく進められる**のも、タブレットドリルのよいところですね。**面倒くさがらず宿題ができているように思います。**



今、「ドリルパーク」を学校採択いただくと

「テストパーク」100が モニター受講いただけます！

「テストパーク」は主要教科書の全単元の確認テストを収録したデジタルテスト（CBT）システムです。
25年度より、「ドリルパーク」を学校採択いただける学校さまは「テストパーク」を無料モニターでお使いいただけます。
デジタルドリルとCBTテストの活用で、さらなる校務削減をサポートします。

テストパークの効果

採点にかかる時間

34.5分 → 9.4分

返却までの日数

3日 → 最短 授業内

※2024年度7月実施 テストパーク利用教員52名を対象とした自社調査より



2025年度 対応教科

▼ 小学校4～6年　算 理 国 社

▼ 中学校一部学年　一部教科・学年に対応予定

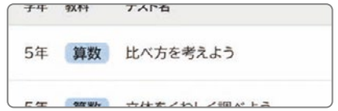
※リリース時期は変わることがあります

活用事例を動画で公開中！

特長1

主要教科書の全単元の
確認テストを収録。
ワンタッチでテスト配信！

単元を選ぶだけでOK



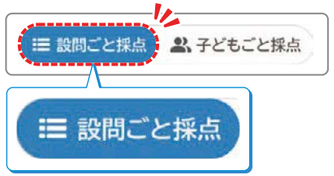
手書きかキーボード入力かも
自由選択OK



特長2

自動採点＆
採点補助機能を搭載し、
校務負荷を大幅カット





設問ごとに解答を一覧化、まとめて採点OK

特長3

テストカスタム作成機能や
子ども主体で解き直しできる
機能など続々追加

※リリース時期は検討中です

▶ テストカスタム作成機能



▶ その場で解説＆解き直し



即採点だから実現。

＼45分の授業中に、テストの返却も解きなおしの復習も！／

従来のテスト時の45分



CBT単元テスト利用時の45分



（福岡市内モニター校での活用例）